

## めざす将来の姿（事務局案）

神戸市総合基本計画審議会  
第1回都市空間部会 別紙  
平成21年8月28日

### 秩序ある土地利用の誘導

- 神戸のまちを構成している、六甲山系や帝釈・丹生山系などの「みどりのゾーン」、農地・里山・集落などの「田園のゾーン」、神戸港を中心として形成してきた市街地の「まちのゾーン」の3つのゾーンの枠組みを基本的に維持した適正な土地利用を誘導します。
- 「まちのゾーン」では、現在ある都市機能を最大限に活かし、歩いて暮らせるコンパクトな都市構造を維持・充実し、だれもが暮らしやすい持続可能なまちをめざします。
- 特にウォーターフロントを含む都心域では、商業・業務、文化、観光など多様な都市機能を発揮し、かつ相乗効果を図り、魅力あるまちをめざします。
- 神戸経済を支える基幹産業や知識創造型産業などが集積した「産業エリア」では、さらなる集積や機能の拡充などにより、神戸に活力をもたらす都市空間の形成をめざします。
- 地球温暖化への対応のため、「みどりのゾーン」、「田園のゾーン」では良好な自然環境を保全・育成するとともに、少子・超高齢化の進展にとともなう田園地域における担い手不足へ対応するため、里作りへの支援などによる集落の活性化をめざします。

### 海・空・陸の総合交通環境の形成

- 人や物の円滑な流れなど、これからの神戸の活力・魅力あるまちづくりや知の交流を促し、多様な都市活動を支えるため、神戸空港の機能強化をはじめ、海・空・陸の総合的な交通環境の形成をめざします。
- 超高齢化の進行に対応したすべての人に優しく暮らしやすいまちづくりを支え、地球環境問題の顕在化をふまえた低炭素社会を実現するため、公共交通ネットワークの形成を推進します。
- 都心域では、都心・ウォーターフロントの回遊性を向上させる魅力的な交通環境の形成や、神戸の玄関口である三宮駅周辺の魅力向上と交通結節機能の強化をめざします。
- 西日本のハブ港を目指す神戸港の物流機能の強化およびそれを支える交通環境の形成が必要であり、国際物流や都市活動の持続的な発展を支えるため、広域幹線道路ネットワークの形成をめざします。